

# Spiritualism News Letter

2008  
第 42 号

7月1日発行

スピリチュアリズム・ニュースレター

発行/スピリチュアリズム・サークル 心の道場

発行人/小池里予

〒441-3141 愛知県豊橋市大岩町字北山468-1

TEL 0532-41-0537 FAX 0532-41-8257

ホームページアドレス <http://www5a.biglobe.ne.jp/~spk/>

今号の内容

・霊的人生の指針 “シルバーバーチの言葉”

シルバーバーチの教訓を霊的成長の武器として活用しましょう！〈抜粋集〉…………… 1

・書籍の「再版状況」についてのお知らせ……………37

・日本を取り巻く最近の情勢をスピリチュアリズムから見ると……………41

## 霊的人生の指針 “シルバーバーチの言葉”

シルバーバーチの教訓を霊的成長の武器として活用しましょう！

### 〈 抜粋集 〉

#### 霊的真理は成長のための「霊的武器」

シルバーバーチをはじめとする高級霊たちが、多くの苦勞を克服して地上に「霊的真理・霊的教訓」をもたらしてくれたのは、地球人類を救済するためです。私たち一人一人に霊的成長の道を歩ませ、本当の幸せへと導くためです。

霊的真理は、霊的人生の羅針盤であり道しるべです。地上人生の目的を教え、それに向かってどのように歩んだらよいのかを、はっきりと示しています。また霊的真理は、日々の霊的闘い（内面的闘い）のための武器であり、真理を賢明に活用することで有意義な地上人生を送ることができるようになります。

霊的真理は、単なる知識としてもたらされたものではありません。それは霊的人生の手引きとして、実際に活用するために与えられたものです。もし真理を実践に移さないとすると、人類にとっての“最高の宝”も全く無意味なものとなってしまいます。私たちスピリチュアリストは、高級霊の真実の愛からもたらされた霊的真理を「霊的闘い」のための武器として、しっかりと役立てていきたいものです。

#### 霊的真理によって取り戻す「霊的視野」

私たちは人生の困難や障害に遭遇すると、つい視野が狭くなり、不安や苦しみを抱くようになります。物質的視野にとらわれて自分なりの小さな世界に閉じこもり、人生に希望や喜びを見出すことができなくなります。そして利己的な感情に流されて、いつの間にか正しい道から逸れていってしまいます。

そうした時こそ、「霊的真理・霊的教訓」が心を支える武器となるのです。真理を読むことで「霊的視野」が広がり、取り越し苦勞や苦しみ・悩みから抜け出すことができるようになります。それまでの重苦しい心境から解放されて、明るく晴れやかな心を取り戻すことができるようになります。魂の奥底に感動を与えることができる真理は、狭くなってしまった視野を一気に切り替える力を持っているのです。

霊的真理は、心を広くし、高め、苦しみを乗り越える勇気を与えてくれます。それは霊的視野を取り戻して、取り越し苦勞や苦しみを払拭するための最強の手段、最強の武器なのです。

---

## 霊的人生の座右の銘

### —— “シルバーバーチの教え”

私たちスピリチュアリストが高い世界を求めるためには、こうした霊的闘いを避けて通ることはできません。その闘いに勝利するためには、何度も何度も真理を繰り返し読み、心を切り替える努力が必要です。これがシルバーバーチがたびたび述べている「霊的真理にしがみつく」ということです。自分の心を整理し、励ましてくれる言葉をあらかじめ準備しておけば、すばやく霊的視野を取り戻すことができるようになります。苦しみ・悩みにとらわれるこ

となく、霊的成長のための実践にエネルギーを向けることができるようになります。

ここでは毎日の霊的闘いの場において「霊的真理」をより効果的に用いていただけるように、さまざまなケースに分類して“シルバーバーチの言葉”を抜粋しました。霊界からもたらされた貴重な教訓を、ぜひとも霊的人生を歩む上での「生きた武器」として活用してくださることを心から願っています。

次のような項目にそって、シルバーバーチの言葉を抜粋しました。



①肉主靈従との闘い（苦しみに負けないように踏んばる闘い）

——醜い自分の心と闘って霊主肉従にする

- ◆物質欲の誘惑に負けないために（金銭・財産）
- ◆名誉欲・自己顕示欲・権勢欲に負けないために（名声・地位・権力）
- ◆本能の力に流されないために（食欲・性欲）
- ◆この世的な幸せだけに心を奪われないために（家庭・結婚）

②利己愛との闘い（苦しみに負けないように踏んばる闘い）

——人を愛せない自分と闘って利他愛を実践する

- ◆憎しみ・嫉妬の思いを乗り越えるために
- ◆自分の好き嫌いの感情に流されないために
- ◆孤独感・寂しさを乗り越えるために
- ◆偏狭な民族意識・国家意識・人種意識を乗り越えるために

③遭遇する苦しみ・困難との闘い（苦しみに負けないように踏んばる闘い）

——苦しみ・困難を小さなものに位置づける

- ◆自分と家族の病気の苦しみに負けないために
- ◆自分と家族の心身の障害の苦しみに負けないために
- ◆金銭問題の苦しみに負けないために
- ◆愛する人との死別の悲しみに負けないために
- ◆あらゆる苦しみを乗り越えるために

④失敗の絶望から立ち直るための闘い（苦しみのどん底から立ち上がる闘い）

- ◆失敗に挫けないために

⑤マナーを乗り越えるための闘い（マナー・情性に流されない闘い）

- ◆新鮮な霊的意識を失わないために

⑥スピリチュアリズムへの反対・敵対との闘い（スピリチュアリストとしての信念を貫く闘い）

- ◆スピリチュアリズムに対する非難・反対・迫害に負けないために

⑦積極的に霊的成長を目指すための闘い（さらに自分を高める努力）

- ◆奉仕のチャンスの無限性に気づくために（もっと人々への奉仕の意欲を高めるために）
- ◆犠牲精神を深めるために（もっと深い利他愛・人類愛を持つために）
- ◆道具意識を深めるために（もっと純粋な奉仕性を持つために）
- ◆謙虚さを深めるために（もっと純粋で内省的な信仰者になるために）
- ◆霊的楽天性を高めるために  
（この世を超越し取り越し苦労をしない、もっと明るくたくましい信仰者になるために）
- ◆守護霊・高級霊の導きへの信頼を強めるために  
（霊界の人々との一体関係を、もっと強固なものにするために）
- ◆使命感を高めるために  
（スピリチュアリズムの歴史的な重要性を自覚し、高級霊とともに地球人類救済の責任を持つ決意を固めるために）
- ◆常に最高の目標を目指すために（理想に向けてチャレンジし続けるために）

## ① 肉主霊従との闘い（苦しみに負けないように踏んばる闘い）

### ——醜い自分の心と闘って霊主肉従にする

#### ◆ 物質欲の誘惑に負けないために（金銭・財産）

金儲けにうつつを抜かすと、そちらの世界では金持と言われても、こちらの世界では哀れな貧しい魂になってしまいます。（シルバーバーチは語る・83）

物的なものだけに目を奪われている者は大きな過ちを犯しております。幻影を追いかけて、永遠の存在を忘れているからです。（シルバーバーチは語る・94）

贅を尽くした安楽の日々を送っている人を見て、羨ましが<sup>うらや</sup>がることはありません。その行く先には過酷な人生が待ち受けているのです。（シルバーバーチは語る・207）

俗世的なものは、いずれ消滅するのです。束の間のものは、しょせん束の間の存在でしかありません。しかし、霊的実在は永遠です。移ろいやすい物的所有物を絶対と思い込んでいる人は、影を追いかけているようなものです。霊的真理を求めている人は、真に自分の所有物となるものを授かりつつある人です。（霊性進化の道しるべ・37）

本当の価値の尺度は霊的成長度です。それは、その人の生活、日常の行為・言動によって自ら成就していくもので、それがすべてであり、それしかないのです。お金で徳は買えません。お金で霊的成長は買えません。お金で霊格は高められません。（最高の福音・246）

この世的な富を蓄積していると、それなりの代価を支払わされます。つまり地上的なものに心を奪われて、その分だけ霊としての義務を怠れば、地上的な富が増えても、こちらの世界へ来てみると、自分がいかにみすぼらしいかを思い知らされます。（霊的新時代の到来・65）

物的なものはそのうち色あせて朽ち果てますが、霊的なものは永遠であり、いつまでも残り続けます。物質の上に築かれたものは永続きしません。物質は殻であり、入れ物にすぎず、実体ではないからです。（霊的新時代の到来・255）

◆ 名誉欲・自己顕示欲・権勢欲に負けないために（名声・地位・権力）

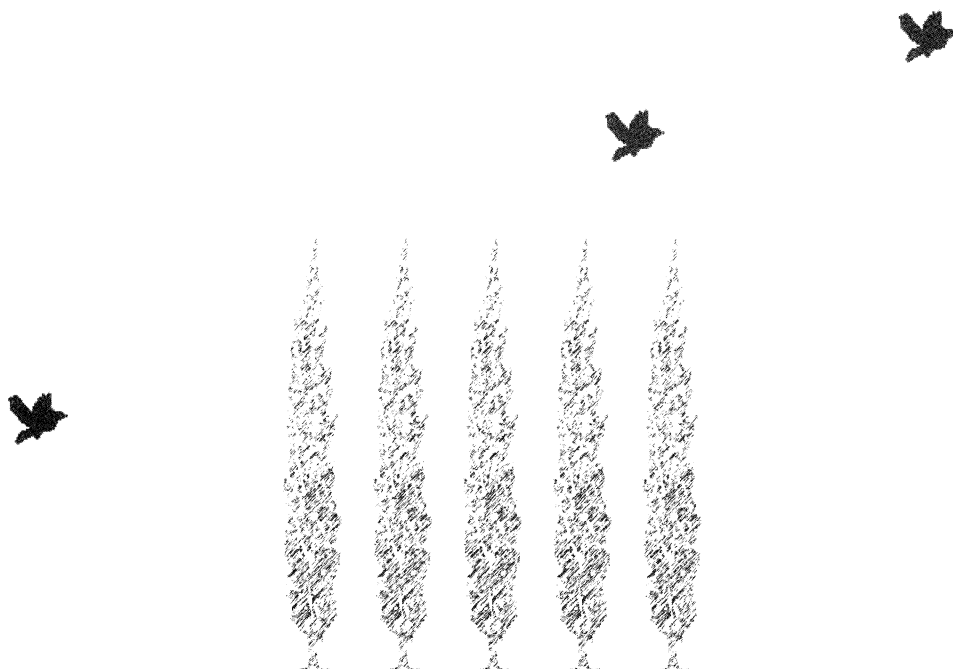
地上界で大人物と言われた人が霊界でも大人物と言われるわけではありません。こちらの世界での偉大さは、魂の偉大さ、霊性の高さ、サービス精神の大ききで計られます。  
(シルバーバーチは語る・95)

そこ（霊界）では地上時代の地位や肩書きといった飾りものがすべて剥ぎ取られ、魂はそのありのままの姿を衆目にさらされ、長所と短所が一目瞭然となります。（中略）金持も貧乏人もいません。いるとすれば霊性の豊かな人と貧弱な人だけです。強者も弱者もいません。いるとすれば霊的に強い人と弱い人だけです。  
(シルバーバーチは語る・164)

地上で授かったラベル（名誉ある地位や肩書き）は霊界では通用しません。（中略）大切なのはただひとつ——日常生活でどれだけ大霊の資質を発現させたか、それだけです。  
(シルバーバーチは語る・177～178)

階級・肩書き・職業・肌の色——こんなものが大霊を前にして何の意味がありません。真に誇れるもの、真の気高さは魂にかかわるもの、霊にかかわるもの、精神にかかわるものです。それこそが永遠の實在なのです。  
(霊性進化の道しるべ・99)

世間でいう“成功者”になるかならないかは、どうでもよいことです。この世的な成功によって手にいれたものは、そのうちあっさりと価値を失ってしまいます。  
(最高の福音・107)



## ◆ 本能の力に流されないために（食欲・性欲）

人間各自の内面では常に“人間臭いもの”と“神性を帯びたもの”との間で葛藤があります。後者が勝てば大霊と一体となった喜びを味わいますが、前者が勝ったときは味気なさを味わいます。（シルバーパーチは語る・135）

やりたい放題の人生を送り、夢まぼろしの幸せを追い求めている魂は、いつかは実在を学ぶために過酷な体験をさせられる時がまいります。

（シルバーパーチは語る・206～207）

人間は本質的に二重の要素をそなえているのです。動物時代の本能の名残り<sup>なご</sup>と神の分霊とがあって、それがあなたの存在の中で常に葛藤しており、そして、そのいずれかを選ぶ自由意志を持つあなたがいるわけです。そこに進化の要素があるのです。あなたとしてはなるべく動物性を抑え、潜在する神性を発揮する方向で努力しないといけません。（霊性進化の道しるべ・46）

私は決して肉体ならびにその必需品を疎か<sup>おろそ</sup>にしてよろしいと言っているのではありません。肉体は霊の大切な道具ではありませんか。肉体的本性が要求するものを無視するように、と勧めているのではありません。一人でも多くの人に、正しい視野を持っていただき、自分自身の本当の姿を見つめるようになっていただきたいのです。自分というものを肉体だけの存在、あるいは、せいぜい、霊をそなえた肉体だと思い込んでいる人が、まだまだ多すぎます。本当は肉体をそなえた霊的存在なのです。（霊的新時代の到来・198）



---

◆ この世的な幸せだけに心を奪われないために（家庭・結婚）

家族的情愛や恋愛が間違っていると言っているのではありません。外へ向けてのより広い愛の方が上だと言っているのです。排他性の内向的愛よりも、発展性の外向的愛の方が上です。いかなる資質にも上等のものと下等のもの、明るい面と暗い面とがあるものです。（シルバーバーチの霊訓1・145（潮文社））

家族的な愛は往々にして排他性を帯びます。いわゆる血のつながりによる結びつきです。それは進化の過程における動物的段階の名残りである防衛本能によって支配されていることがよくあります。

（シルバーバーチの霊訓1・145～146（潮文社））

私は、同じ愛でも、家族的な絆に根ざした愛よりも、奉仕的精神に根ざした愛の方がはるかに尊いと信じている者の一人です。奉仕的精神から発動した愛の方がはるかに偉大です。（シルバーバーチの霊訓7・110（潮文社））



## ② 利己愛との闘い（苦しみに負けないように踏んばる闘い） ——人を愛せない自分と闘って利他愛を実践する

### ◆ 憎しみ・嫉妬の思いを乗り越えるために

霊的成長は、思いやりの心、寛容の精神、同情心、愛、無私の行為、そして仕事を立派に仕上げることを通して得られます。言いかえれば、内部の神性が日常生活において発現されて初めて成長するのです。邪<sup>よこしま</sup>な心、憎<sup>にく</sup>しみ、復<sup>ふく</sup>讐<sup>しゅうしん</sup>心、悪意、利己心といったものを抱いているようでは、自分自身がその犠牲となり、歪<sup>ゆが</sup>んだ、ひねくれた性格という形となって代償を支払わされます。

（霊的新時代の到来・76）

嫉妬心・食欲・恨み・憎しみといった邪念は、身体的行為よりも大きな悪影響を及ぼします。思い切り人をぶん殴ることによって相手に与える身体的な痛みよりも、その行為に至らせた邪念が当人の霊と精神に及ぼす悪影響の方が、はるかに強烈です。

（霊的新時代の到来・116）

私は誰も憎みません。憎むということができないのです。なぜなら、私は大霊の子すべてに神性を認めるからです。そしてその神性が全く発揮できずにいる人、あるいは、わずかしか発揮できずにいる人を見て、いつも気の毒に思うからです。

（霊的新時代の到来・117）

私は憎しみを抱くことはできません。摂理を知っているからです。大霊は絶対にごまかせないことを知っているからです。誰が何をしようと、その代償はそちらにいる間か、こちらへ来られてから、支払わされます。いかなる行為、いかなる言葉、いかなる思念も、それが生み出す結果に対しては、その人自身が責任を負うことになっており、絶対<sup>まぬが</sup>に免れることはできません。ですから、いかにみすぼらしくても、卑<sup>いや</sup>しくとも、大霊からいただいた衣をまとっている同胞を憎むということは、私にはできません。

（霊的新時代の到来・118）

恨みを抱くことは悪いことですが、霊的知識を知った人がもし誰かに恨みを抱くようなことがあったら、それは千倍も悪質な罪となります。知識はすべてのことに厳しさを要求するようになります。私がいつも“知識は責任をとまなう”と申し上げているのは、そういう意味です。

（シルバーバーチの霊訓3・43（潮文社））



---

◆ 自分の好き嫌いの感情に流されないために

霊格が高いことを示す一番の指標は、人を選び好みしないということです。

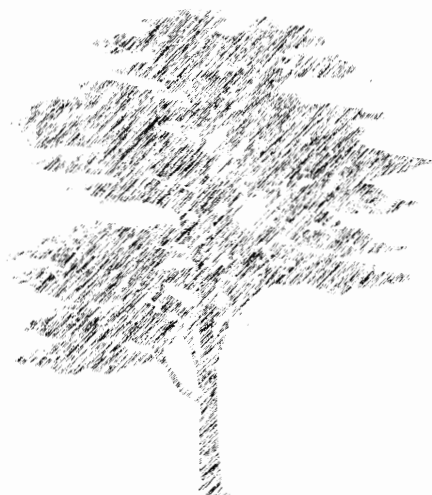
(霊的新時代の到来・169)

好感を感じる人を愛するのはやさしいことです。そこには徳性も神聖さもありません。好感の持てない人を愛する——これが魂の霊格の高さを示します。あなたに憎しみを抱いている人のもとに赴くこと、あなたの気に食わぬ人のために手を差しのべること、これは容易なことではありません。確かに難しいことです。しかし、あなた方は常に理想を目標としなければいけません。他人にできないことをする、これが奉仕の奉仕たる所以だからです。可哀そうにと思える人に優しくする、これは別に難しいことではありません。気心の合った人に同情する、これも難しいことではありません。が、敵を愛する、これは実に難しいことです。

(シルバーバーチの霊訓1・142~143 (潮文社))

何とかしてあげたいと思っている人がいれば、その方を善意と、ぜひ自分をお役立てくださいという祈りの気持で包んであげることです。ですが、それを自分が愛着を感じる人のみに限ることは感心しません。たとえ崇高な動機に発するものであっても、一種の利己主義の色合いを帯びているものだからです。

(シルバーバーチの霊訓2・169 (潮文社))



## ◆ 孤独感・寂しさを乗り越えるために

あなた方は一時として独りぼち<sup>いっとき</sup>でいることはないこと、周囲には常にあなた方を愛する大勢の人々が見守り、導き、援助し、鼓舞せんとして待機していることを知っていただきたいのです。  
(シルバーバーチは語る・83)

背後には霊団が控えていて、困難に遭遇したときには元気づけ、疲れたときには希望と力を与え、落胆しているときには魂を鼓舞してくれるということです。見放されることは絶対にないということです。

(シルバーバーチは語る・290)

大勢の霊がこれまでずっとあなたを鼓舞し、保護し、導き、目にこそ見えなくても現実的影響力を行使してきたのです。喜びをともに喜び、悲しみをともに悲しんできました。まさしく笑いも涙も分け合ってきたのです。そうした霊とあなたとは文字どおり一体であり、決して見捨ててはおきません。

(霊性進化の道しるべ・71)

一人一人が何らかの存在価値を持ち、小さすぎて用のない者というのは一人もいないこと、忘れ去られたりすることは決してないことを忘れないようにしましょう。そういうことは断じてありません。

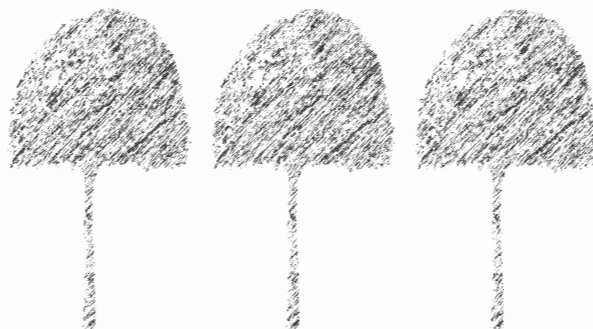
(最高の福音・199)

地上の友だちがすべて逃げ去り、自分一人取り残され、誰もかまってくれず、忘れ去られたかに思えるときでも、背後霊の存在を知る者は、霊の世界からの温もりと親密さと愛があることを思い起こすことができます。

(最高の福音・253)

いついかなる時も、守護霊の任を引き受けた霊との愛の絆があなた方に霊力を引き寄せ、温かく包みこんでいることを忘れないでください。

(霊的新時代の到来・15)



◆ 偏狭な民族意識・国家意識・人種意識を乗り越えるために

地上の人間は大霊が授けた太陽と同じ七色の肌に上下の差をつけたがりません。肌色だけを見て、霊性においては一つであることを知らずにいます。

(シルバーバーチは語る・31)

いつの日か大霊の摂理の理解が行きわたった時点で、すべての肌の色の人々が混ざり合い、互いに愛の心でもって睦<sup>むつ</sup>み合う日がきます。人間を肌の色で見分けるのではなく、その奥の魂で見分けるようになるまでは、地上界に真の平和は訪れません。

(シルバーバーチは語る・78)

民族的対立をなくし、地上人類はすべてが大霊の子であるとの認識を持つことです。対立を生んでいるのは地上的概念であって、大霊は何の差別もしておりません。民族の別なくすべての人類に大霊の分霊が宿っており、それゆえに全人類が等しく大霊の子なのです。

(シルバーバーチは語る・295～296)

国家とか民族とかで差別してはいけません。いずれの国家も民族も大霊の一部なのです。みな大霊の目から見れば兄弟であり姉妹なのです。

(シルバーバーチは語る・297)

私たちは大霊を共通の父とする地上の全民族の霊的同胞性を説きます。

(霊性進化の道しるべ・197)

私たちの目には国家の別はありません。全体が霊的存在で構成された一つの民族であり、一人一人が、国家の法律ではなく、大自然の摂理によって裁かれるのです。

(最高の福音・63)



### ③ 遭遇する苦しみ・困難との闘い（苦しみに負けないように踏んばる闘い） ——苦しみ・困難を小さなものに位置づけする

#### ◆ 自分と家族の病気の苦しみに負けないために

病に苦しむ人を見て気の毒に思い胸に同情心が湧いてくるのは無理もないことであり、私もそれを咎めるつもりは毛頭ありません。しかし、その時のあなたは苦しみの一面のみを見ておられ、その人が苦しみの中で過ごす時間は、その代償として得られる喜びに較べれば実に些細なものであるということまでは理解が及びません。  
(霊性進化の道しるべ・139)

もしもその霊にとって、次の発達段階にそなえる上での浄化の過程として、その肉体的苦痛が不可欠の要素である場合には、あなた方治療家を通していかなる治癒エネルギーが働きかけても、絶対に治りません。(中略) 苦痛も大自然の過程の一つなのです。摂理の一部として組み込まれているのです。

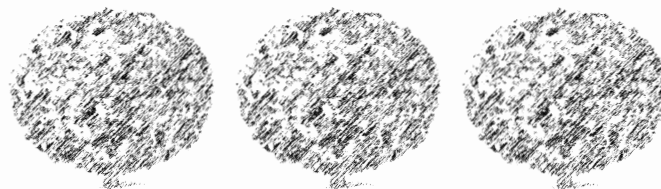
(霊的新時代の到来・144)

どうか“不治の病”という観念はお持ちにならないでください。そういうものは存在しません。治らないのは、往々にしてその人の魂がまだそうした治療による苦しみの緩和、軽減、安堵、ないしは完治を手にする資格を身につけていないからであり、そこに宿業(カルマ)の法則が働いているということです。こう申し上げるのは、あきらめの観念を吹聴するためではありません。たとえ目に見えなくても、何ごとにも摂理というものが働いていることを指摘したいからです。

(霊的新時代の到来・177)

病気は当の患者に、人生の目的と存在の意義を成就するためになさねばならぬことを啓示するための手段であったのです。

(シルバーバーチの霊訓1・133 (潮文社))



## ◆ 自分と家族の心身の障害の苦しみに負けないために

困難・障害・ハンディキャップ——こうしたものは魂の試練なのです。それを克服したとき、魂はより強くなり、より純粹になり、より充実し、かくして進化が得られるのです。  
(シルバーバーチは語る・98)

地上へ生まれ出るときに授かる身体は、授かるべくして授かったものです。つまり前世の中身に照らして相応しいものを携えて新たな地上生活を始めるのです。ですから、遺伝性の病気を<sup>ふきわ</sup>持って生まれたからといって、それを不利と見るのは間違いです。当人の霊的進化にとって必要な人生を送らせるような身体を授かっているのです。  
(シルバーバーチは語る・111)

身体という外形だけで魂の価値を判断してはいけません。魂の進化と、それが地上生活で使用する身体<sup>の</sup>進化とを混同してはいけません。父親または母親、あるいは双方から受け継いだ遺伝的法則の結果として傷害をもって生まれてくることはあるのは事実ですが、それが魂の進化を阻害することはありません。  
(シルバーバーチは語る・190)

障害をもって生まれてくる子供には、その魂にそれなりの埋め合わせの原理が働いているものです。正常な身体を持って生まれた子供よりも、優しさ・寛容心・他人への思いやり等の強い性格をしていることがあります。永遠の時を尺度とした、因果律の一環としての『埋め合わせの原理』というものがあり、それは逃れようにも逃れられません。  
(シルバーバーチは語る・190)

私たちからすれば、目が見えないというのは、あくまでも相対的な問題としてしか考えておりません。霊的な盲目という問題をどうお考えになりますか。地上人類の霊的覚醒を使命としている私たちの立場からすれば、無数にいる霊的に盲目の人の方をむしろ見下したくなります。(中略) 霊的覚醒の段階まで到達している人にとっては、目が見えないということは、別に障害とはならないでしょう。ただ物が見えるというだけの視力よりも、はるかに素敵な視野を得ていることでしょう。  
(霊的新時代の到来・57～58)

精神的に異常のある場合は、精神が地上生活の目的である“発現”のチャンスが与えられなかったということであって、破壊されていたわけではありません。損傷を受けることはありますが、秘められている能力そのものは無傷のままです。  
(霊的新時代の到来・246)

## ◆ 金銭問題の苦しみに負けないために

時には挫折して不遇に喘ぐこともあるでしょう。しかし、完べきな信念に燃えていれば、いつかはきっとこの世的な不遇から立ち直ることができます。大霊の象徴である太陽に向かってこう言うのです——「私は大霊の一部だ！私を破滅させ得るものは何もない。永遠の存在なのだ！無限の可能性を秘めた存在なのだ！限りある物質界の何ひとつとして私を傷つけることはできないのだ！」と。もしもこれだけのことが言えるようであれば、あなたが傷つくことは絶対にありません。

(シルバーバーチは語る・82)

経済的事情は物的身体を束縛することはあっても、魂まで束縛することはできません。束縛しているのは経済的事情ではなくて、その人自身の精神です。その束縛から解放されるための叡智は、受け入れる用意さえあれば、いつでも得られるようになっております。

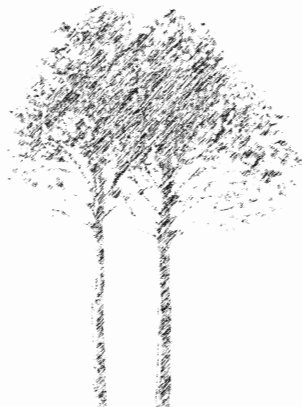
(シルバーバーチは語る・303)

お金は霊的成長とは何の関係もないこと、進化は各自の生活そのものによって決まっていくのであり、それ以外にないことを言いたいのです。困ったことに、地上の人間は、直面する物的問題に心を奪われて、つい間違った人生観を持ってしまいがちですが、いついかなる時も、霊的真理を忘れないようにしないといけません。これだけは永続性のある霊的な宝であり、いったん身につけると、二度と奪われることはありません。

(最高の福音・247)

霊の道具としての仕事に励んでいる者は、物的生活の必需品に事欠くことには決してなりません。こちらから用意してあげます。飢えに苦しむようなことにはなりません。渇きに苦しむようなことにはなりません。きっと何とか切り抜けるものです。

(シルバーバーチの霊訓11・33 (潮文社))



---

◆ 愛する人との死別の悲しみに負けないために

一人また一人と、縁ある人々が旅立って行きます。その時、取り残された気持になって寂しい思いをするのは無理からぬことかもしれません。しかし、その人たちは死後、本格的に自我を開発するための旅を続けていることを忘れてはいけません。  
(シルバーバーチは語る・206)

死ぬということは決して悲劇ではありません。むしろ今その地上で生きていることこそ悲劇といってもよいくらいです。(中略)死ぬということは、肉体という牢獄に閉じ込められていた霊が自由になることです。  
(シルバーバーチは語る・212)

死は魂にとっては、より自由な世界への入り口のようなものですから、二人の結びつきは地上よりいっそう強くなります。  
(シルバーバーチは語る・220)

死は愛する者どうしを裂くことは絶対にできないということです。愛はすべての障害を打ち砕きます。  
(霊性進化の道しるべ・157)

愛する人は今もなお、あなたの身近にいらっしゃるのです。死は愛を減ぼすことはできないのです。  
(霊性進化の道しるべ・157)

死は消滅ではありません。霊が別の世界へ解き放たれるための手段にすぎません。誕生が“地上生活へ入る”ための手段であれば、死は“地上生活から出る”ための手段ということができます。  
(霊的新時代の到来・255)



◆ あらゆる苦しみを乗り越えるために

苦難は魂の目覚めのきっかけ

魂は、辛い体験・試練・苦難のつぼの中で真の自我に目覚め、純化され、強化されて、より大きな人生の目的と意義を理解する素地が<sup>つちか</sup>培われるのです。

(霊性進化の道しるべ・50)

そのうちあなたも、地上人生を明確な視野のもとに見つめ直す時がまいります。その時、苦難こそ最も大切な教訓を教えてくれていること、もしもあの時あれだけ苦しまなかったら、悟りは得られなかったであろうことを、しみじみと実感なさいます。

(最高の福音・48)

葛藤を余儀なくさせられる困難が多いほど、それだけ魂が成長するものです。霊的自我に目覚めるのは常に厳しい環境を克服せんとする葛藤の中においてこそです。

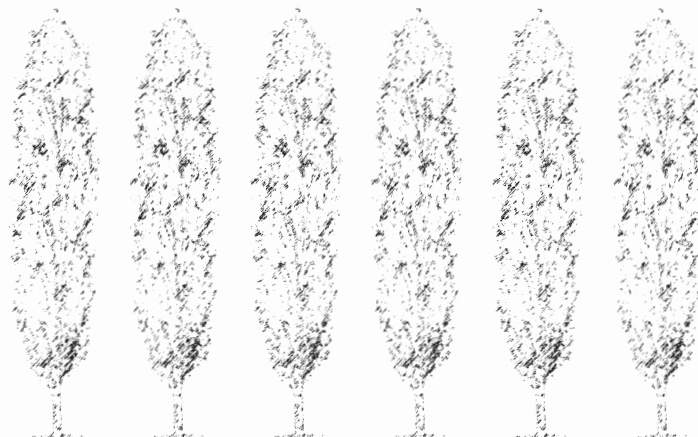
(シルバーバーチは語る・194)

安易さ・呑気・怠惰の中では魂は目を開きません。刻苦と奮闘と難渋の中にあって、初めて目を覚ますのです。

(霊的新時代の到来・138)

大切な知識、大きな悟りというものは、悲しみと苦しみという魂の試練を通して初めて得られるものだということです。

(霊的新時代の到来・253)





## 魂は苦難によって磨かれる

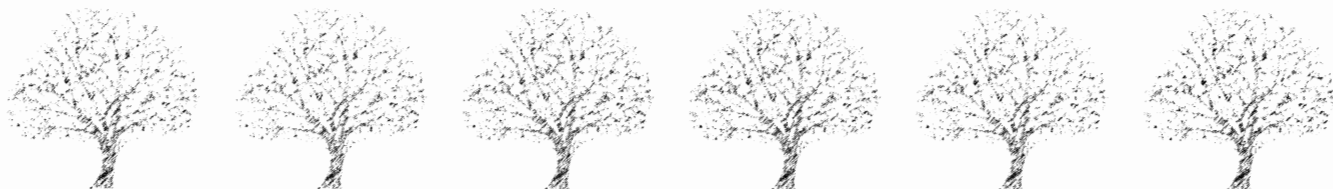
賢明な人間とは、すべての体験を魂の養分として摂取する人のことです。辛いことや<sup>ぼんのう</sup>煩悩の誘惑に負けることなく、霊性のすべてを傾けて困難に立ち向かう人です。その気迫に満ちた生き方の中でこそ霊性が磨かれ進化するので  
(シルバーバーチは語る・185)

人生の苦難は魂が向上していくための階段です。困難・障害・不利な条件——これらは魂の試練なのです。それらを克服していくことによって魂がいつそう充実し、向上し、一段と強くそして純粹になってまいります。  
(霊性進化の道しるべ・136)

辛い教訓ではあります。が、教訓とはそういうものなのです。もしも教訓がラクに学べるものだとしたら、もしも人生に苦勞も誘惑も困難もなく、気楽な漫遊の旅だったら、それは<sup>たいはい</sup>頹廢への道を進んでいることになります。  
(最高の福音・48~49)

霊性の発達は、各自が抱える問題をどう対処していくかにかかっています。物事がラクに、そして順調にはかどるから発達するわけではありません。困難がともなうからこそ発達するのです。  
(霊的新時代の到来・74)

価値あるものは、苦難と悲哀なしには達成できません。地上は地上なりの教訓の修得方法があるのです。それを避けて通るわけにはいきません。  
(霊的新時代の到来・83)



克服できない苦難はない

あなた方は個性の強化のために地上界へ来ているのです。その強化は日々の難問にどう対処するかによって決まります。そのときに忘れてならないのは、地上界で生じる難問には人間の魂に内在する霊力で克服できないものはないということです。  
(シルバーバーチは語る・87)

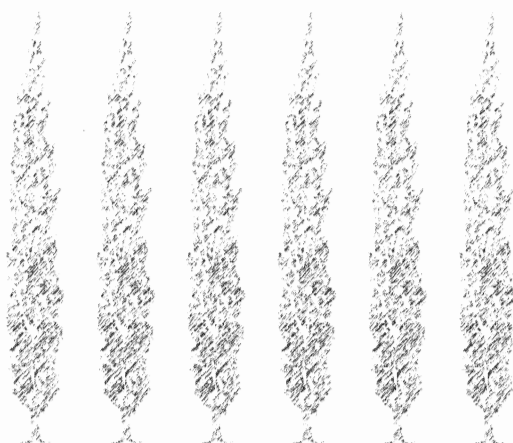
いかに暗い体験も——暗く感じられるのは気に食わないからにすぎないのですが——克服できないほど強烈なものはありません。あなたに耐えきれないほどの試練や危機に直面させられることはありません。(霊的新時代の到来・196)

いかなる事態に遭遇しても、心を平静に保てるようになれば、その無尽蔵のエネルギーが湧き出てきます。それは霊的なものですから、あなたが直面するいかなる困難、いかなる問題をも克服することができます。

(霊的新時代の到来・213)

忘れてならないのは地上界で生じる難問には人間の魂に内在する霊力で克服できないものはないということです。  
(シルバーバーチは語る・87)

自分の力で解決できないほどの問題に直面させられることは決してありません。克服できない困難というものは絶対に生じません。重すぎて背負えないほどの荷物は決して与えられません。しかも、あふれんばかりの自信に満ちた雰囲気の中で生きていれば、霊界から援助し、導き、支えてくれる、あらゆる力を引き寄せることができます。  
(最高の福音・195)



両極の体験の中でこそ成長が得られる

悲哀の極みをなめ尽くして初めて、魂の奥底からの喜びが味わえるのです。生命の階段を低く降りるほど、それだけ高く上がれるのです。地上人生の陰と思える体験を多く味わうほど、それだけ日向<sup>ひなた</sup>の喜びがひとしお身にしみるのです。  
(シルバーバーチは語る・99)

人生は日向と日陰、静寂と嵐というふう<sup>ふう</sup>に二面性から成り立っています。一本調子にはできておりません。幸せと喜びの生活にも、時には悲しい出来事が生じます。その極端な差異を味わってこそ性格が伸びるのです。かくして悲しみからも、人生の嵐からも、苦痛からも教訓<sup>きょうこん</sup>を学び取ることができます。その必要性が理解できない人は神に不平を言いますが、日陰の生活を味わってこそ日向の生活のありがたさが分かるのです。  
(霊性進化の道しるべ・200)

魂は比較対照の中<sup>なか</sup>にあってこそ本当の意味で生きることを始めます。もしもあなたの体験が良いこと、楽しいこと、美しいことばかりだったら、その人生は空虚なものとなることでしょう。そこには深み<sup>ふかみ</sup>というものがないからです。  
(霊性進化の道しるべ・200)

地球は学習のために通う“学校”です。その学習は、比較対象の体験による以外にはあり得ません。日向と陰、嵐<sup>あらし</sup>と凧<sup>たぎ</sup>、愛と憎しみ、善と悪、健康と病氣、楽しみと苦しみといった相反する体験を通して学習していくのです。相対的体験と、その中での試行錯誤の努力を通して、魂が磨かれていくのです。  
(霊的新時代の到来・25)

地上生活の目的はいたって簡単なことです。死後に待ち受ける次の生活に備えて、本来のあなたであるところの霊性を強固にすることです。身支度を整えるのです。開発するのです。となると、良いことも悪いことも、明るいことも暗いことも、長所も短所も、愛も憎しみも、病氣も健康も、その他ありとあらゆることが、あなたの受け止め方ひとつで、あなたの霊性の成長の糧となることがお分かりでしょう。  
(霊的新時代の到来・196)



## 苦難の克服は良き道具となるための必須条件

最大の貢献をなさんと心がける人は、困難や難問を避けようとしてはなりません。その困難、その難問こそが、そうした志を持つ人々の魂の奥底を掘り起こし、奉仕の仕事に役立つ道具として、ぜひとも備えねばならない隠れた資質を活用させることになるからです。(シルバーパーチの霊訓1・41 (潮文社))

霊力の道具として役立つだけの資格を身につけるまでには、それなりのトレーニングが要ります。それは大変なことです。何となれば、その結果としてある種の鍛錬、ある種の確信を身につけなければならず、それは苦難の体験以外には方法がないからです。(シルバーパーチの霊訓1・161 (潮文社))

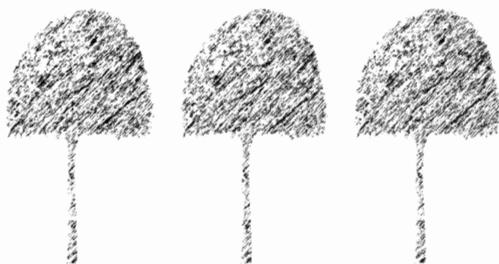
試練に耐え切れないうちは、自分以外の魂を導く資格はありません。自ら学ぶまでは、教える立場に立つことはできません。それは苦難の最中、苦悩の最中、他に頼る者としてない絶体絶命の窮地において身につけなければなりません。(シルバーパーチの霊訓1・162 (潮文社))

かんなんしんく  
艱難辛苦——辛く・厳しく・難しく・苦しい体験の中で自らが学ばねばなりません。それが真に人のために役立つ者となるための鉄則です。

(シルバーパーチの霊訓1・163 (潮文社))

人助けをするための霊的才能を授かるには、自ら苦しみと悲しみを味わうという条件が付きものなのです。霊の道具としての自覚を持つに至るには、苦を体験しなければならないということです。苦の体験の本質は、霊的才能を手段として仕事をする者の試金石です。それを耐え抜いて初めて、自分のもとを訪れる人の力になってあげることができるのです。

(シルバーパーチの霊訓11・52 (潮文社))



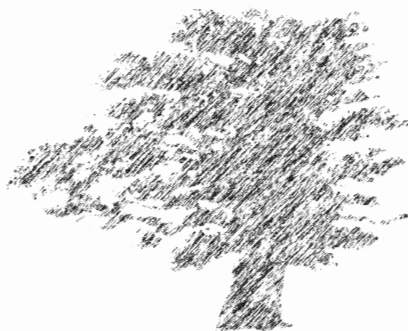
---

苦しむ地上人を見守る霊界人の思い

私は人間の苦痛の叫び声に無神経なわけではありません。できることなら重荷のすべてを私が背負ってあげたいくらいの気持です。ですが、地上世界のごことは地上世界で片づけないといけないのです。(霊性進化の道しるべ・69)

こちら側にいる私たちにとって耐え忍ばねばならない最大の試練は、愛情の絆で結ばれている地上の人間が苦難と闘っているのを目のあたりにしながら、それがその人の魂にとって、ぜひとも必要であるとの認識のもとに手をこまねいて見ていなければならないときです。(霊性進化の道しるべ・137)

この私も、人間が苦しむのを見て涙を流したことが何度かあります。でも、ここは絶対に手出しをしてはならない、と自分に言い聞かせました。それが摂理だからです。そのときの辛さは、苦しんでいる本人よりも辛いものです。しかし、本人自らの力で解決すべき問題を、この私が代わって解決してあげることは許されないのです。(霊的新時代の到来・73)



## ④ 失敗の絶望から立ち直るための闘い (苦しみのどん底から立ち上がる闘い)

### ◆ 失敗に挫けないために

いかに重い罪を犯したからといって、それで大霊から切り離されることは絶対にありません。人間と大霊とを結びつけている絆は切ろうにも切れないものであり、したがって罪ゆえに宇宙の孤児になってしまうことはありません。

(シルバーパーチは語る・175)

大霊との霊的な絆は永遠に切れることはありません。いくら下降しても、二度と向上できなくなるということはありません。

(シルバーパーチは語る・195)

晴天の日だけが神の日ではありません。嵐の日にも神の法則が働いております。成功にも失敗にも、それなりの価値があります。失敗なくしては成功もありません。

(霊的新時代の到来・152)

地上世界は、そうやって魂が勉強する場所なのです。失敗もし、そして願わくば、それから何かを学んでいくのです。犯した間違いを正し、教訓を学び、より立派な行為を心がけ、二度と失敗しないようになっていくのです。

(霊的新時代の到来・202)

失意のどん底にあるときは、もうすべてが終わったかの感じを抱くものですが、実はそこから始まるのです。

(シルバーパーチの霊訓1・56 (潮文社))

過ぎ去ったことは忘れることです。すでに後ろのものとなりました。前にあるものが大切です。言うまでもなく、今あなたが味わっている結果を生み出した原因は過去にあります。しかし同時にあなたは、これから結果を生み出す原因を今つくりつつあるのです。良いタネを蒔くように努力なさることです。

(シルバーパーチの霊訓11・17 (潮文社))

## ⑤ マンネリを乗り越えるための闘い

### (マンネリ・惰性に流されない闘い)

#### ◆ 新鮮な霊的意識を失わないために

この大事業に直接たずさわっているわれわれが気をつけなければならないのは、かつては大変な啓示に思えたものが次第にごく当り前のことに思えてきて、そこに感動を覚えなくなることです。しかし、永いあいだ暗闇の中に閉じ込められていた者にとっては、ホンのわずかな真理の言葉でも目が眩むほどの感動的な光に思えることがあるのです。 (霊性進化の道しるべ・121)

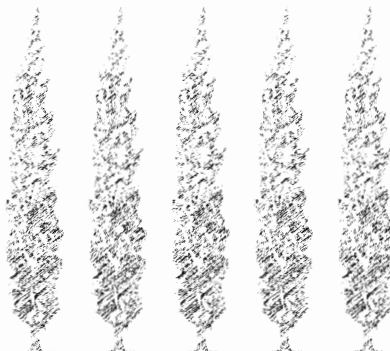
真理普及の仕事を託された者に私から申し上げたいのは、現在のわが身を振り返ってみて、果たして自分は当初のあの純粹無垢の輝きを失いかけてはいないか、今一度そのときの真摯なビジョンにすべてを捧げる決意を新たにする必要はないか、時の流れとともに煤けてきた豊かな人生観の煤払いをする必要はないか……そう反省してみることです。霊力の地上へのいっそうの顕現の道具として、おのれの全生活を捧げたいという熱意にもう一度燃えていただきたいのです。 (霊的新時代の到来・291～292)

あなたは、ぜひとも為さねばならないことへの情熱を失ってはなりません。善行への励みに嫌気がさしてはなりません。これは大切なことです。

(シルバーバーチの霊訓 8・215 (潮文社))

霊的真理があまりに身近な存在であるために“木を見て森を見ず”の弊害に陥ることがあります。時には一服して、自分がどういう位置にあるかを確かめるのもよいことです。

(シルバーバーチの霊訓 9・80 (潮文社))



## ⑥ スピリチュアリズムへの反対・敵対との闘い

### (スピリチュアリストとしての信念を貫く闘い)

#### ◆ スピリチュアリズムに対する非難・反対・迫害に負けないために

われわれはよく誤解されます。往々にして最大の味方であるべき人が最大の敵にまわることがあります。が、そういうことにはお構いなく仕事を遂行します。そして大霊の目から見て正しいことをしているかぎり、物質の世界の何よりも強力な霊の勢力を呼び寄せることができます。

(霊性進化の道しるべ・110)

地上では先覚者は、あまり歓迎されないのです。大てい非難を浴びております。

(霊性進化の道しるべ・174)

あきらめてはなりません。真理普及というこの大きな闘いにおいて、私たちの味方になられた方に“敗北”はありません。時として後退のやむなきに至ることはあるでしょう。が、知識が無知を追い払い、光が闇をかき消しながら、われわれは絶え間なく前進を続けております。

(最高の福音・57)

皆さんが携わっておられる大いなる闘いは、これからも続きます。こうした霊的真理の絡んだ問題で、意見の衝突や論争が生じるのを恐れてはなりません。いずれは必ず人類の大多数によって受け入れられていくのですが、相手が間違っていることがわかっていながら、論争を避けて大人しく引っ込んだり、妥協したり、口先をごまかしたりすることなく、いかなる犠牲を払っても真理は真理として守り抜くという覚悟ができていないといけません。

(最高の福音・253～254)

結果を怖がるような人間は弱虫です。そんなことでは性格は鍛えられません。霊の世界の道具たらんと欲する者は、迫害されることをむしろ誇りに思うようではなくてはなりません。あらゆる攻撃を、それがどこから来ようと、堂々と迎え撃つのです。胸を張って生き、その毅然たる態度、その陰ひなたのない言動によって、いつでもどこでも試される用意があることを見せつけるのです。

(最高の福音・254)



## ⑦ 積極的に靈的成長を目指すための闘い（さらに自分を高める努力）

### ◆ 奉仕のチャンスの無限性に気づくために （もっと人々への奉仕の意欲を高めるために）

あなた方一人一人が、大靈の仕事、大靈の力、大靈の愛、大靈の知識に、その分に応じて貢献できるということです。例えば自分より力の劣る人を少しでも向上させてあげる上で貢献すれば、その分だけ大靈の力があなた方を通して顕現したことになるのです。それをいかなる形ですか、相手が誰であるか、いずこの暗闇に光明をもたらすかは問題ではありません。

（シルバーバーチは語る・79）

地上で生活している人間のすべて——富める者も貧しい者も、身分の高い人も低い人も、地位も肩書きも階級も職業もいっさい関係なくすべての人に、自分を人のために役立てるチャンスが必ず訪れることになっております。（中略）世間の目にハデに映る闘いばかりが意義ある闘いではありません。私たちは人間の行為の価値基準を、それが他人のために役立つことであるか否かにおいております。それなら誰にだってできるはずです。いつでもどこにいても、人のために自分を役立てるチャンスならいくらでもあるはずです。

（靈性進化の道しるべ・33）

地上世界のすべての人間が、自分より恵まれない人のために役立てる、何らかの才能をそなえているものです。

（最高の福音・101）

われわれは大いなる神の計画の中に組み込まれていること、一人一人が何らかの存在価値を持ち、小さすぎて用のない者というのは一人もいないこと、忘れ去られたりすることは決してないことを忘れないようにしましょう。そういうことは断じてありません。宇宙の大靈の大事業に誰しも何らかの貢献ができるのです。

（最高の福音・199）

人のために自分を役立てることは尊い行為です。あなたの望みどおりの分野で仕事ができなくても、人のためになると思うことを、その時その時に行えばよろしい。

（シルバーバーチの靈訓10・44（潮文社））

◆ 犠牲精神を深めるために（もっと深い利他愛・人類愛を持つために）

大霊のため、そして大霊の子等のために一身を捧げたい——この願いより崇高なもの、これ以上の愛、これに勝る宗教、これより深い哲学はありません。

（シルバーバーチは語る・134）

自分のことより他人のために優先し、自分の存在を意義あらしめるほど、それだけ霊性が発達します。

（シルバーバーチは語る・135）

自分を犠牲にする覚悟のできていない人間に、いい仕事はできません。このことは、こうして霊界での生活を犠牲にして地上へ戻ってくる私たちが身をもって学ばされてきた教訓の最たるものではないでしょうか。

（シルバーバーチは語る・243）

心に愛を、頭に知識を、そして魂に犠牲的精神を満たしてください。

（シルバーバーチは語る・291）

いつどこにいても人のため、世の中のため、人類のために心がけるのです。自分を忘れるのです。ケチくさい打算の世界に超然としておれるようでないといけません。

（霊性進化の道しるべ・26）

いつでも自我を滅却する用意のできた、勇気と誠意と率直さにあふれた男女——霊力がふんだんに地上世界へ降下して人生を大霊の意図された通りに豊かさや美しさや光輝にあふれたものにするためなら、いかなる犠牲をも厭わ<sup>いと</sup>ない人材がほしいのです。

（霊性進化の道しるべ・115～116）

神性の最大の顕現は、ほかならぬ人間の霊性の中に見出すことができます。その最高の表現が、人のために己<sup>おのれ</sup>を犠牲にする行為です。

（最高の福音・42）

あなた方は容易ならざるお仕事に携わっておられるのです。犠牲と献身を要求される仕事です。

（霊的新時代の到来・159）



---

◆ 道具意識を深めるために（もっと純粋な奉仕性を持つために）

私の世界には大霊の使者の大軍が控え、いつでも地上世界のために手助けをする用意を整え、あなたのような“道具”が“私はいつでも用意ができております。どうぞお使いください”と言ってくださるのをお待ちしている事実を、この目で見知っているのです。（霊性進化の道しるべ・64）

迷わず進みなさい。身につけられた知識の中で確信をもって着実に歩みなさい。せっかくの霊的知識を賢明に、そして上手にお使いなさい。そして大霊の道具としての義務を忘れないようにしてください。“忠良なる僕よ、よくぞ任務を果たされた！”（マタイ伝）との祝福の言葉を賜るよう、お互い、それぞれの道で励みましょう。（霊性進化の道しるべ・91～92）

忘れないでいただきたいのは、皆さん方のような地上での道具がなくては、私たちも何も為し得ないということです。皆さんは私たちに闘いのための武器を供給してくださっているようなものなのです。皆さんの力をお借りする以外に地上には頼りにすべき手だてが何もないのです。喜んで私たちに身をゆだねてくださる人以外に、道具とすべきものがないのです。

（霊性進化の道しるべ・115）

どうかあなたも、地上世界を毒している諸悪の駆逐のために、私たちの味方になってください。私たちの新たな道具として、一命を捧げていただけませんか。（最高の福音・55）

あなたも私も、一つの大きな目的のための道具であり、その目的をより容易に、より立派に、そして人をより幸せにするために、お互いの役割を果たそうと努力しているところであることを忘れないようにいたしましょう。

（最高の福音・122）

どうか皆さんも、可能なかぎりの美德を地上にもたらすために皆さんを活用しようとしている高級霊の道具である、というよりは、心がけひとつで道具となれる、ということを実感なさってください。（最高の福音・207～208）

あなた方はしょせん、私たちスピリットの道具にすぎません。そして、私たちもまた、さらに高い神霊界のスピリットの道具にすぎません。自分より偉大なる力がすべてを良きに計らってくださいと信じて、すべてをお任せすることです。（霊的新時代の到来・175）

◆ 謙虚さを深めるために（もっと純粹で内省的な信仰者になるために）

私はこの地上へ私を派遣した霊団の代弁者（マウスピース）にすぎず、私という一個の存在としての栄誉とか褒章を求める気持はみじんもありません。誇大に宣伝したり地上時代の偉そうな人物名を名乗ったりする趣味も持ち合わせません。（中略）私はただお役に立てばそれでよいのです。

（シルバーバーチは語る・27～28）

自分の存在を知ってもらいたいとも功績を認めてもらいたいとも思わず、ただひたすら自分を役立てたいというサービスの精神から参加している人が無数にいることを忘れないでください。

（シルバーバーチは語る・41～42）

私たちはただお役に立てば、それだけで満足なのです。無償の献身を通してのみ、地球人類は救われるのです。

（シルバーバーチは語る・71）

私への礼は無用です。大霊に感謝してください。私たちは大霊のために奉仕しているのですから……。私たちはただの道具にすぎません。代理として働いているその大中心の存在に感謝なさるべきです。

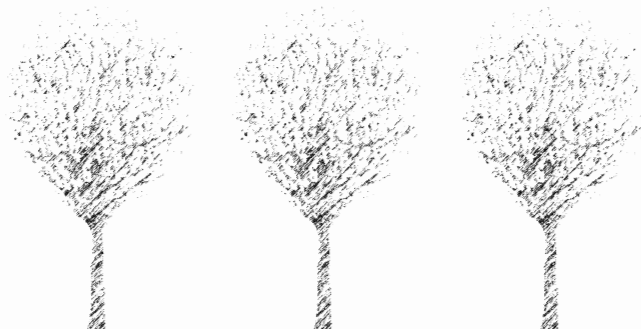
（霊性進化の道しるべ・65）

こうした仕事において、私たちは自分自身のことは何ひとつ求めません。栄光を求めているわけではありません。地上の人たちのために役立てば、という願いがあるだけです。

（霊的新時代の到来・88～89）

私たちは自分自身のことは何も求めません。お礼の言葉もお世辞もありません。崇<sup>あが</sup>めてくださっても困ります。私たちはただの使節団、大霊の代理人にすぎません。

（霊的新時代の到来・202）



◆ 靈的楽天性を高めるために

(この世を超越し取り越し苦勞をしない、  
もっと明るくたくましい信仰者になるために)

とにかく冷静で受容的な心を持つことです。取り越し苦勞・悩み・心配の念が一番いけません。そうした低級な感情が周囲にモヤを生み出し、私たちが近づけなくするのです。  
(シルバーバーチは語る・244)

心が楽しければ楽しいほど、それだけ大靈の心に近いということを意味します。あなた方一人一人が大靈であり、したがって物質界のいかなることも、取り返しのつかないほどの影響を及ぼすことはできません。  
(シルバーバーチは語る・264)

あなたは、何ひとつ恐れを抱く必要はありません。あなたを包み込んでいる力、あなたを支え、導き、そして鼓舞せんとしている力は、ほかならぬ宇宙の大靈から発せられているのです。その力はあらゆる試練と困難の中において、あなたの支えとなってくれます。  
(靈性進化の道しるべ・98)

俯うつむいてはなりません。見上げるのです。そして本当の力は上から、そして自分の内部からくることを自覚してください。そこから自信を得て、万事はきつとうまくいくこと、愛のあるところには絶対に禍事まがごとは生じないとの信念をもって将来に対処してください。  
(靈性進化の道しるべ・195)

克服に手こずる障害がたくさんあります。それを乗り越えるには、皆さん方が忠実であってくださること、信念を崩さないでいてくださること、そして何よりも、恐れることを知らない気迫を持ち続けてくださることが不可欠なのです。心配・迷い・不安、こうした弱みが心に根を張るのを許してはなりません。  
(最高の福音・148)

これからも難問が前途よきを過ることでしょう。が、皆さんもそれを過って進めばよろしい。いっしょに留まってはなりません。解決できないほど大きな難問、背負えないほど重い荷物というものはありません。弱気になってはいけません。明日がもたらすものを、断固たる意志と不敵な精神で迎えるのです。そうすれば万事うまくいきます。  
(最高の福音・148～149)

何が起きようと、それによって傷つくようなことはありません。目標を高く掲げ、何ものにも屈しない盤石の決意をもって“最大多数の人々への最大限の徳”をモットーにして仕事に当たれば、それが挫折することは絶対にありません。  
(最高の福音・208)

万事は良きに計らわれていること、大霊の摂理に調和しさえすれば必ず幸せな結果がもたらされるとの信念を持たれてしかるべきです。  
(霊的新時代の到来・67)

迷わず、ただひたすら心に喜びを抱いて奉仕の精神に徹して仕事をなさることです。そして、あとのことは全て大霊にお任せすることです。それから先のことは人間の力の及ぶことではないのです。  
(霊的新時代の到来・175)

残念ながら敵がいます。取り越し苦勞・心配・愚痴という大敵です。それが波長を乱し、せっかくの霊的援助を妨げるのです。霊は、平静さと自信と受容性の中で初めて伸び伸びと成長します。  
(霊的新時代の到来・196~197)

真理を悟った人は決して取り越し苦勞はしません。なぜなら、人生には大霊の計画が行きわたっていることを知っているからです。(中略)無用の心配をするという、そのことが、霊的成長の欠如の指標であると言えます。たとえわずかでも心配の念を抱くということは、まだ魂が本当の確信を持つに至っていないことを意味するからです。確信があれば心配の念は出てこないでしょう。  
(霊的新時代の到来・215)



◆ 守護霊・高級霊の導きへの信頼を強めるために

(霊界の人々との一体関係を、もっと強固なものにするために)

あなた方の味方として大変な数の霊が差し向けられております。その中にはあなた方のよく知っている人々もいます。血縁でつながっている人もいれば、あなた方への愛の念から馳せ参じている人もいます。(中略) それ以外にあなた方とは何の縁もゆかりもない人々で、自分の存在を知ってもらいたいとも功績を認めてもらいたいとも思わず、ただひたすら自分を役立てたいというサービスの精神から参加している人が無数にいることを忘れないでください。

(シルバーパーチは語る・41)

地上の一人の人間が他の一人の人間に救いの手を差し延べようとする時、その背後には数多くの霊が群がってそれを援助し、その気高い心を何倍にもふくらませようと努めます。善行の努力が無駄にされることは絶対にありません。奉仕の精神も決して無駄に終わることはありません。

(シルバーパーチは語る・56)

大勢の霊がこれまでずっとあなたを鼓舞し、保護し、導き、目にこそ見えなくても現実的影響力を行使してきたのです。喜びをともに喜び、悲しみをともに悲しんできました。まさしく笑いも涙も分け合ってきたのです。そうした霊とあなたとは文字どおり一体であり、決して見捨ててはおきません。あなたの方から一歩近づけば、彼らはさらにもう一歩近づくように援助します。

(霊性進化の道しるべ・71)

勇気をもって前進してください。もとより、これからも多くの困難と多くの失敗は免れません。が、そういうときでもわたしたちが背後に控えていて、苦しいときには不屈の情熱を吹き込み、疲れたときには希望と力とを与え、意気消沈しているときには精神を高揚してあげるための努力をします。決して独りぼっちでいることはありません。大霊が使者を遣わして援助します。

(霊性進化の道しるべ・108)

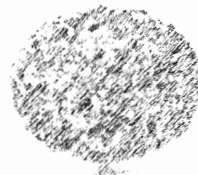
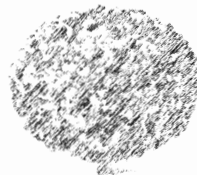
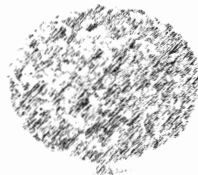
いついかなるときも、あなたの身のまわりには見えざる存在がいてあなたを導き、守護し、あなたの存在価値を最大限に発揮させるべく働きかけているということです。独りぼっちでいることは決してありません。見捨てられることは絶対にありません。

(最高の福音・40)

---

たった一人の人間も、霊の力を背後にすれば大きな仕事ができるのです。  
(中略) おっしゃる通り、たった一人のすることです。見た目にはたった一人です。が、その背後には、自分を役立てたいとの願望に燃える者にならず授けられる強大な霊力が控えております。 (最高の福音・56)

今日まであなたを導いてきた力(背後霊)を確信することです。そうすれば、その力の方からあなたを見捨てることはありません。あなたは大変な愛によって包まれております。その愛の力は絶対にあなたを見捨てません。あなたに託されている責務を忠実に果たしているかぎり、その愛の力から見放されることはありません。 (最高の福音・183)





◆ 使命感を高めるために

(スピリチュアリズムの歴史的な重要性を自覚し、  
高級霊とともに地球人類救済の責任を持つ決意を固めるために)

皆さん方は新時代の先駆者です。先駆者ゆえの苦難は覚悟しなければなりません。が、掛けがえのない遺産を後世に残すことになります。

(霊性進化の道しるべ・26)

皆さんにはとてつもなく大きな信任が委託されているという認識を新たにしたいのです。言い換えればそれは担わされた大きな責任でもあります。それを委託なさったのは、絶対に裏切ることのない、全生命の始源である大霊にほかならないのです。

(霊性進化の道しるべ・107)

私たちの仕事は“人生意気に感ず”の気概なくしてはできない仕事です。その仕事の尊厳に誇りを覚えて全身全霊を打ち込むようでなくては成就できません。

(霊性進化の道しるべ・116)

この新しい幕開けの時代に生きておられる皆さんには、大いなる貢献のチャンスがあるということです。地上界を見渡してごらん下さい。悲劇と絶望、悲哀と苦悩、涙にぬれた顔、顔、顔が見えるはずですよ。何とかしなければならぬ分野がいくらかでもあることに気づかれるはずですよ。まだまだ無知がはびこっています。まだまだ権力の悪用が跡を絶ちません。改めなければならない偏見がいたるところに見受けられます。

(霊性進化の道しるべ・118)

それは“魂の革命”となるでしょう。そして世界中の人間が霊的存在としての当然の権利、すなわち霊としての自由を満喫する権利を主張することになるでしょう。(中略) あなた方はその先駆者(パイオニア)なのです。道を切り開き、障害を取り払い、後から来る人たちが楽に通れるようにしてあげてください。

(霊性進化の道しるべ・124)



皆さんは新しい秩序の誕生を今まさに目撃しておられるのです。辺りをご覧になれば、利己主義と物質偏重と貪欲と強欲と残酷の上に築かれた古い世界が滅亡しつつあるのが分かります。スピリチュアリストをもって任じておられる皆さんは、大いなる真理の管理人でいらっしゃいます。前哨地ぜんしょうちを守る番兵として新しい時代の構築に協力してくださっているのです。

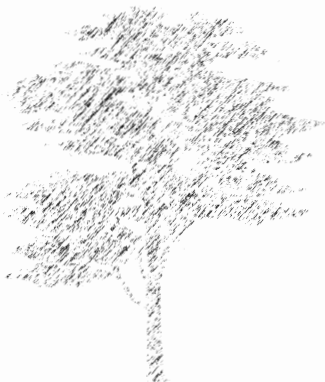
(靈性進化の道しるべ・160)

ご自分のことを戦いくさの中の戦に参戦している大霊の兵士とお考えください。悲劇と混乱と破綻とをもたらした無知という暗黒の勢力を撃破するための仕事を支援なさっているのです。子等が大霊の用意されている恩寵を心ゆくまで満喫できる新しい世界の構築に、皆さんも参加しておられるのです。

(靈性進化の道しるべ・160)

幾世紀も前から、真理普及のための強大な霊的軍団が組織されているのです。(中略) あなたへ届けられる“召集令状”は、人のために自分を役立てることを求めています。勲章は授けてくれません。襟章(バッジ)もつけてくれません。等級もありません。しかし、絶対的な忠誠心と堅忍不拔けんじんふぼつの献身的精神をもって臨めば、必ずや勝利を手にすることができることを、私がお約束します。

(最高の福音・55)



◆ 常に最高の目標を目指すために  
(理想に向けてチャレンジし続けるために)

これまでに得たもので満足してはいけません。良い意味での“不満”は、さらなる進歩への欲求の表れであり、その不満がより大きな知識を呼び込むのです。手にしたものにあぐらをかく者は活力を失います。

(シルバーバーチは語る・45)

真理の道は、永遠に尽きることのない探求です。その境界線は、無限に広がります。魂が進化するほどに、精神もそれに反応していくものです。知識にも真理にも、叡智にも成長にも、これでおしまいという極限がないことを悟った時、その時こそ本当の意味で“自由”となるのです。

(シルバーバーチは語る・152)

物質界における日常生活の中で、可能な限り完全に近い行いをするによって、少しでも多く神性を発揮する人が『聖人』です。

(シルバーバーチは語る・170)

霊性を磨けば磨くほど、さらに磨くべき領域があることを知るものです。

(シルバーバーチは語る・196)

完全であるように努力しなさいと言っているのです。それが地上で目指すべき最高の理想なのです。

(シルバーバーチは語る・349)

私たちも、どうせ今すぐには実現できないと知りつつ、理想を説いております。もしも私たちが努力目標としての理想を説かずにいたら、与えられた使命を全うしていないこととなります。目標の水準は高めないとはいけません。低くしてはいけません。

(霊性進化の道しるべ・132)

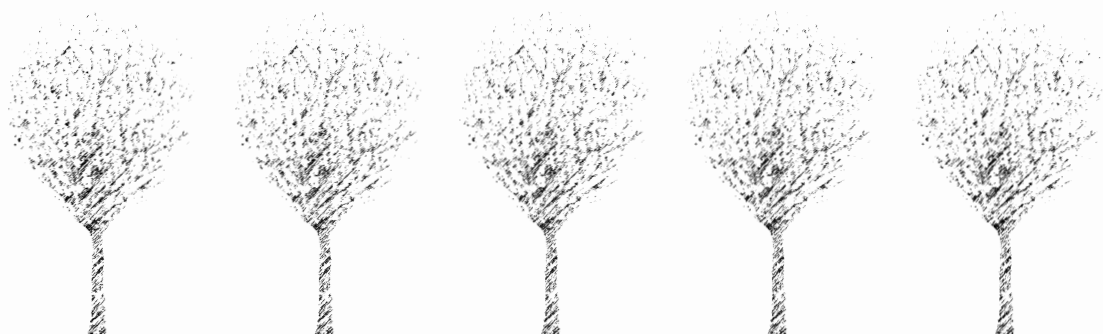
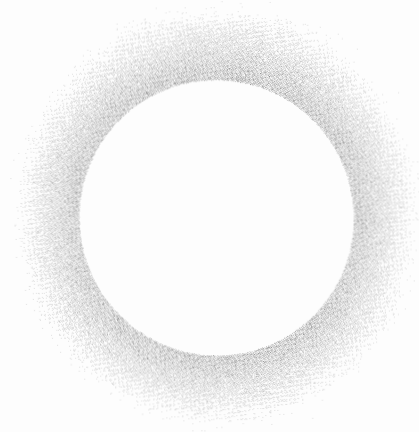
生命の生命たるゆえんは絶え間ない向上にあります。今の段階では手の届かないものを何とかして手に入れようと努力するところにあります。

(霊性進化の道しるべ・215)

---

生命の進化は限りなく続くのです。私は三千年を生きてきた今、そう悟っているのです。その無限の階梯<sup>かいてい</sup>を登り続けるには、刻一刻と絶え間なく進化していかなければなりません。そして、その進化とは、不完全なものが少しずつ完全になっていくということを意味するのですから、それは当然、苦をともなう過程であるはずで  
(最高の福音・50)

進化の道は限りなく続きます。ここでお終<sup>しま</sup>いという究極がないということです。(中略) 生命は永遠にして無限です。不完全な側面を一つまた一つと取り除きつつ、完全へ向けて絶え間なく努力していくのであり、その過程に“終局”はないのです。  
(最高の福音・177)

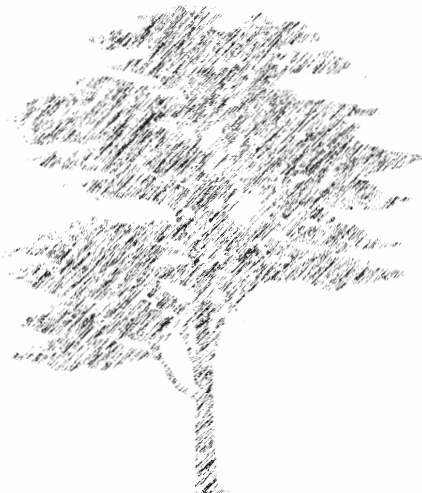


●● 書籍の「再版状況」についてのお知らせ ●●

★しばらく在庫切れとなっておりました  
『シルバーバーチは語る』の再版が完成いたしました。

なお、現在『500に及ぶあの世からの現地報告』（改訂新版）と『スピリチュアリズム入門』（新版）の製作を進めておりますが、ニューズレター41号（4月1日号）でお伝えした発行予定が、それぞれ1ヵ月半～2ヶ月ほど遅れる見通しとなりました。

いずれの書籍も出来上がりしだい、ホームページを通じてお知らせいたします。明確な発行時期については現時点ではお伝えできませんが、少しでも早くお届けしたいと努めておりますので、ご了承ください。お電話でのご予約は、お受けいたしております。



❧ スピリチュアリズム・ビデオ&テープ ❧  
ライブラリー

VIDEO&DVD

『地球人類の霊性進化の道  
“スピリチュアリズム”』

— 霊的真理のエッセンス・真理編 —

ビデオ

(価格)

「真理編・前編」 2時間テープ 1本……2,000円

「真理編・後編」 2時間テープ 2本……3,500円

※別途、送料がかかります。

※ビデオは、VHSとS-VHSの2つのタイプがあります。どちらかをご指定ください。  
S-VHSのタイプの方が、よりきれいに映りますが、専用デッキでないと再生できません  
のでご注意ください。

★皆様からご要望が寄せられておりました

『地球人類の霊性進化の道  
“スピリチュアリズム”』

のDVDが完成いたしました。

DVD

「真理編・前編」  
「真理編・後編」 > 2時間DVD 3枚セット (価格)  
(合計 5時間30分) ……5,500円

※別途、送料がかかります。

## TAPE&CD

### スピリチュアリズム関連書籍

#### 朗読テープ

「スピリチュアリズム入門」90分テープ 4本……………2,000円

「続スピリチュアリズム入門」

※完売いたしました

90分テープ 5本

60分テープ 1本

計6本……………2,800円

「500に及ぶあの世からの現地報告」

90分テープ 8本……………3,500円

※完売いたしました

#### 朗読CD

「スピリチュアリズム入門」 74分 CD 5枚……………3,000円

※現在、製作準備中

「続スピリチュアリズム入門」 74分 CD 7枚……………4,000円

「500に及ぶあの世からの現地報告」

74分 CD 10枚……………5,500円

※現在、製作準備中

※いずれも別途、送料がかかります。

## ❧ スピリチュアリズム・ライブラリー ❧

スピリチュアリズム・サークル「心の道場」では、スピリチュアリズム精選シリーズとして、下記の本を自費出版しています。

- ◆スピリチュアリズム入門 (169頁) ※現在、再版準備中  
ースピリチュアリズムが明かすー「心霊現象のメカニズム&すばらしい死後の世界」
- ◆続スピリチュアリズム入門 (256頁)  
ー高級霊訓が明かすー「霊的真理のエッセンス&霊的成長の道」
- ◆霊媒の書 (297頁)  
スピリチュアリズムの真髄「現象編」  
『The Mediums' Book』 アラン・カルデック編著/近藤千雄 訳
- ◆霊の書 (357頁)  
スピリチュアリズムの真髄「思想編」  
『The Spirits' Book』 アラン・カルデック編著/近藤千雄 訳
- ◆500に及ぶあの世からの現地報告 (437頁) ※現在、再版準備中  
ーエクトプラズムボックスを通じて明らかにされる死の直後の実生活ー  
『Life After Death』 ネヴィレ・ランドル著/小池 英 訳
- ◆マイヤースの通信ー永遠の大道 (全訳) (271頁) ※現在、再版準備中  
『The Road to Immortality』 G・カミンズ著/近藤千雄 訳
- ◆マイヤースの通信ー個人的存在の彼方 (全訳) (304頁)  
『Beyond Human Personality』 G・カミンズ著/近藤千雄 訳
- ◆霊訓 (完訳・上) 『The Spirit Teachings』 (225頁)  
ステイントン・モーゼス著/近藤千雄 訳
- ◆霊訓 (完訳・下) 『The Spirit Teachings』 (260頁)  
ステイントン・モーゼス著/近藤千雄 訳
- ◆シルバーバーチは語る (443頁)  
『Teachings of Silver Birch』 A. W. オースティン編/近藤千雄 訳
- ◆シルバーバーチの霊訓 (272頁)  
ースピリチュアリズムによる霊性進化の道しるべー  
『A Voice in the Wilderness』 トニー・オーツセン編/近藤千雄 訳
- ◆シルバーバーチの霊訓 (281頁)  
ー地上人類への最高の福音ー  
『The Seed of Truth』 トニー・オーツセン編/近藤千雄 訳
- ◆シルバーバーチの霊訓 ー霊的新時代の到来ー 『The Spirit Speaks』 (301頁)  
トニー・オーツセン編/近藤千雄 訳
- ◆スピリチュアル・ヒーリングとホリスティック医学 (371頁)  
ー霊的エネルギー療法の本質と将来の医学の方向性ー

※日本スピリチュアル・ヒーラーグループ発行



## 日本を取り巻く最近の情勢を スピリチュアリズムから見ると……

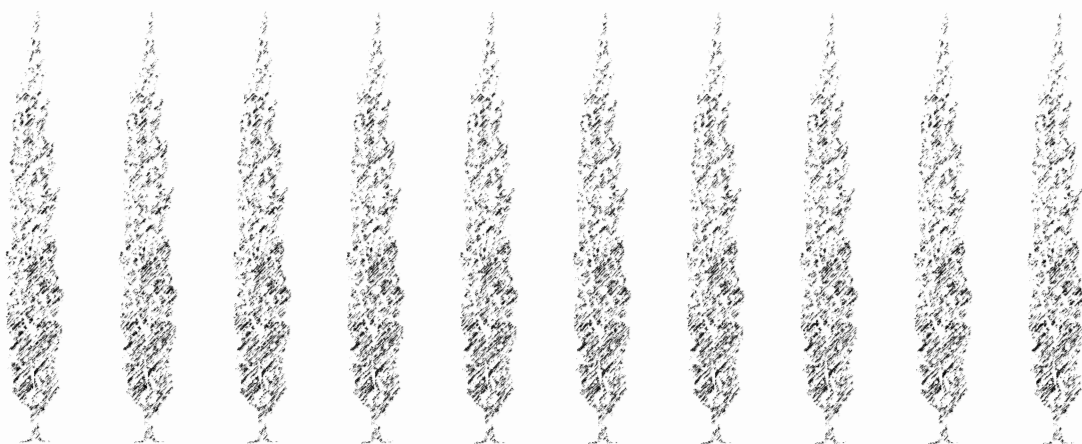
ミャンマーのサイクロン災害、そして中国の四川大地震によって苦しむ人々の様子が連日放映されています。そうした災害は、決して他人事ではありません。日本人全員の上にも大きな災害が、突如降りかかってくる可能性があるのです。

その中で特に注意すべきものが「パンデミック（鳥インフルエンザの感染爆発）」です。これについてはマスメディアでしばしば報じられていますので、大体の様子はご存知のことと思います。パンデミックは、もはや避けることができない出来事であり、時間の問題であると言われています。そしてパンデミック以外のもう一つの重大事が「世界経済の破綻」です。アメリカのドル暴落か中国のバブル崩壊がそのきっかけになるだろうと予想されていますが、それはいつ発生してもおかしくない状況にあります。

世界経済が破綻すれば、間違いなく日本の国家破産は一気に表面化することになるでしょう。ここしばらくの間は米国のサブプライムローンに端を発した世界経済の混乱が問題となってきましたが、今後発生することになる世界大恐慌は、規模においても悲惨さにおいても、それとは比較にならない深刻なものとなるはずで

そうした事態を迎えたときには日本国民の多くが、どん底の生活に叩き落されることになるでしょう。現在のミャンマーや中国の人々の悲惨な状況が、私たち日本人にとっても現実のものとなるのです。財産を一瞬にして失い、町には最低限の生活さえままならない人々があふれ、社会の機能はマヒ状態に陥ります。今の状況からでは想像がつかないような事態が、現実には迫っているのです。ここ50年間に体験したことがないような悲惨な状況が訪れ、大勢の人々が絶望し、自殺者が絶えないことになるでしょう。

日本は長い間、直接的な戦争の脅威にさらされることもなく、人々は物欲追求に奔走し、物質的快楽と飽食に浸ってきました。霊的に見ると極端な「肉主霊従の状態」が続いてきたのです。その結果、もはや日本人自身では、それに歯止めをかけることができないところまで至っています。これまで物欲と本能的快楽にどっぷりと漬かってきた日本人にとって、かつて体験したことがないような大衝撃に襲われることとなります。そして人々は塗炭<sup>とたん</sup>の苦しみの生活に、いやおうなく追い込まれるようになるのです。



このような事態は物質的視野から見れば、大悲劇・大不幸ということになります。しかし霊的に見れば、物欲への傾斜を断ち切り、再出発するよい機会と言えます。日本人の性格からして、こうしたことでもない限り根本的な改革・やり直しはできません。また日本の政治に期待することは、とうていできません。その意味で迫りつつある経済破綻は、霊的には日本人にとって、よい結果をもたらすこととなります。日本経済がどん底まで落ちて、初めてやり直しができるようになるのです。今後、確実に遭遇することになる地獄のような状況の中で、日本国家と日本人が霊的な方向に歩み出せるようになることを心から願わずにはいられません。

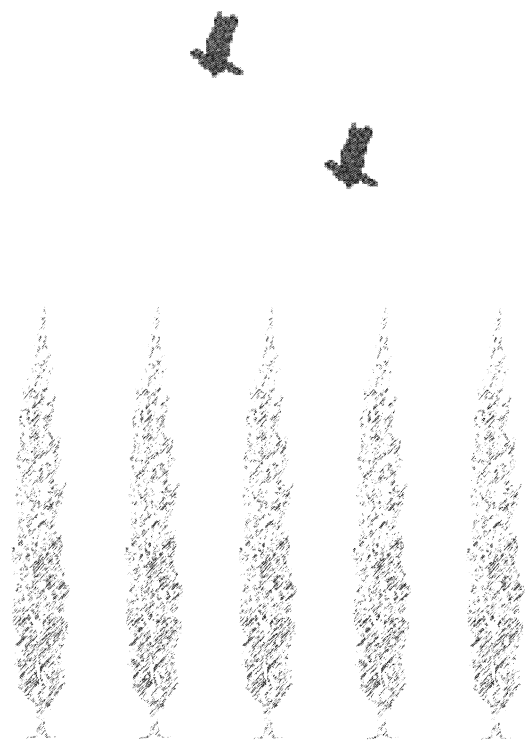
最近では中国関連の出来事や事件が、立て続けに話題になりました。毒ギョーザ事件から始まり、東シナ海の石油掘削問題・チベット問題（チベット民族弾圧事件）・オリンピック聖火リレー問題・四川大地震と続きました。中国は霊的に見たとき、世界の中で最もエゴ性・物欲性の強い国です。霊性のきわめて低い国家と言えます。そして一番の問題は、共産党による“一党独裁体制”が現実存在しているということです。資本主義経済と共産党一党独裁体制という前代未聞の矛盾したシステムは、必ず破綻することになります。この二つは本来的に両立することは不可能だからです。

しかし近年中国は、“世界の工場”とまで言われるほどの経済的大発展を遂げました。そして世界各国の企業は中国での大儲けの魅力に引き寄せられて中国に進出し、中国経済の中に巻き込まれてしまうことになりました。金のために、いずれの先進諸国も魂を売り渡してしまったのです。日本企業もその代表です。すべてが“金儲け”という動機のもとで中国になびき、邪悪な中国政府に媚びへつらうことになってしまいました。こうした状況は、日本のマスメディアも日本の政治家も全く同じです。

共産党による一党独裁というシステムは、人類にとっての“最大の敵”と言わなければなりません。それは中国人ばかりでなく地球人類の幸せにとって最大の障害となるものであり、何としても地球上か

ら取り除かなければならない癌<sup>がん</sup>なのです。物欲とエゴが凝縮したシステムの中で中国は、自国の利益しか考えず、内部ではすさまじい権力闘争が繰り広げられています。他国の利益を強引に奪い取ることは当たり前で、自分たちだけが利益を得ればそれでよし、とするのです。

そうした一党独裁体制の支配のもとでは、大半の中国人民が思想や宗教の自由を奪われ、霊的存在としての最低限の権利さえ認められていません。それが「チベット問題」として表に出たのです。私たちが確たる良識と良心を持っているなら、中国政府を支持すべきか、あるいはチベット人を応援・支持すべきかはハッキリしています。人類にとっての敵がいずれであるのかは、今さら言うまでもありません。今回のオリンピックは、すべてが政治イベントと言わなければならないものであって“国家エゴ”の手段と化しています。確かにスポーツは人々に多くの感動と勇気を与え、人間の持つ気高さを引き出すこともあります。チベット人への迫害という人類の尊厳に対する不当な行為を前にして、そうした理想を並べ立てることがあってはなりません。

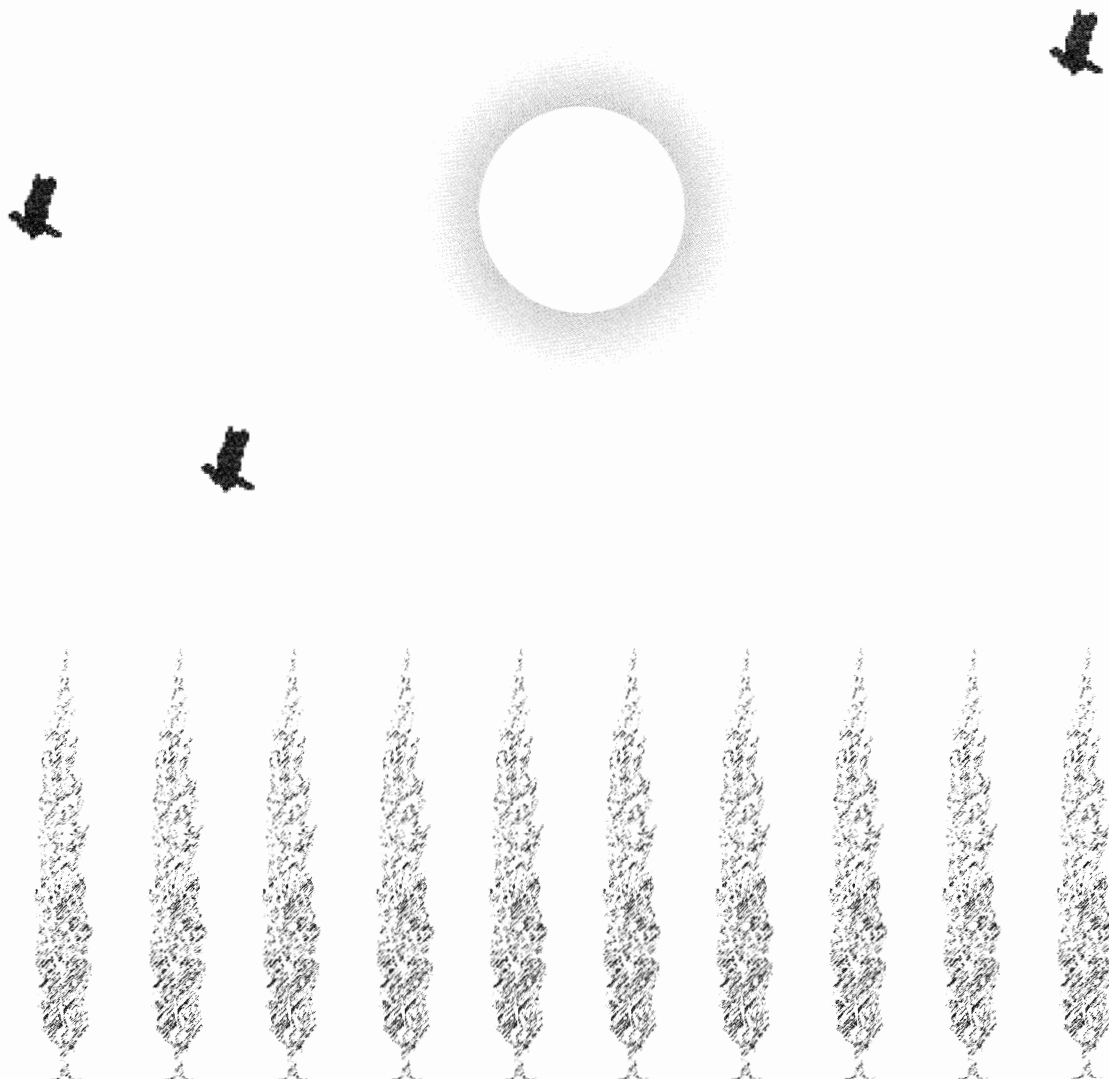


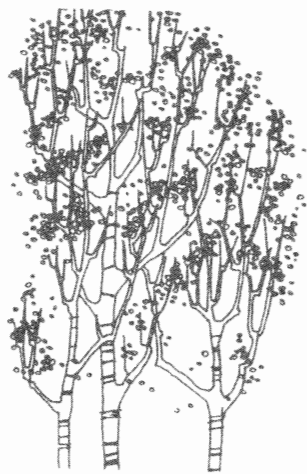
本来なら日本や欧米の先進諸国は、こぞって今回のオリンピックには不参加を表明すべきだったのです。チベット人を迫害し、人倫を冒瀆する中国の共産党一党独裁体制に、正面きって反対を表明すべきだったのです。魂を売ってまで、人類の敵と仲良くする必要などありません。敵対視されても高貴な理想を主張し、毅然と対処するのが当然の在り方なのです。

中国社会の内部矛盾と経済矛盾は、すでに限界を超えています。「神の摂理」という観点から見たとき、もはやいつまでもそうした矛盾を抱えたまま走り続けることはできません。国家が崩壊するような事態が、いずれやってくることは間違いありません。そのときには、それまで金だけのために中国に進出

した日本企業の工場は人質同然の状態に置かれ、中国での財産を一瞬にして失うことになるでしょう。また同時に日本国家も、それまでの優柔不断なエゴのツケを払わされることになるのです。

残念なことです。日本の現状を見るかぎり、破綻状態に突き落とされ、国民全員が苦しみのどん底に立たされるのが、霊的には一番ふさわしい道・再出発する唯一の道であるように思われます。そうやって初めて人々は、物質のしがらみから解放され、「霊的世界・霊的生き方」に目覚めることになるでしょう。そのときこそ、本当の“スピリチュアリズム”が多くの人々の中に浸透していくことになるはずで





*Spiritualism Circle*  
*Kokoro no Dojo*